

平成29年度 学校経営計画書

学校番号	61	学校名	静岡県立小笠高等学校	校長名	福石 康行
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

総合学科の理念を踏まえ、『至誠実行』の校訓のもと、個性と豊かな人間性を備え、主体的に生きる生徒の育成を目標とする。

ア 多様な生徒が学ぶ意義と目的を理解し、充実した学校生活を送ることができる学校

イ 地域社会の発展に貢献できる有為な人材を育成する学校

ウ 生徒の成長を保護者と共有し、地域に開かれた学校

(2) 目標具現化の柱

総合学科高校創立30年に向けて、以下の柱について具現化し推進する。

ア 基本的な生活習慣の確立と、社会性を育成する。

イ 魅力ある授業を創造し、主体的な学習態度の育成と、基礎学力の定着を図る。

ウ 総合的な学習の時間と特別活動の活性化により、生徒の多面的な成長を図る。

エ 個に対応した進路指導の充実と、系統的な進路指導を実践する。

オ 安心して学校生活を送ることができるために、保健・安全指導の徹底を図る。

カ 積極的な情報発信により、保護者・地域と連携した開かれた学校作りを推進する。

キ 学習環境の整備と適性かつ円滑な事務業務の執行を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣の確立	元気のよいあいさつができ、誇りを持って校歌が歌える生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 元気にあいさつができる生徒 95%以上 各行事式典において誇りを持って校歌を歌える生徒 前年度比10%増 	生徒課
		時間を守り、高校生らしい頭髪・服装で生活できるよう、粘り強く指導する。	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻件数、服装チケット指導数、指導件数共に前年度同様の良好な状態を目指す。 	生徒課
		交通ルールやマナー等、社会規範の指導を通して社会性を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> マナーや規範意識の育成を図る。 ツーロックの日を利用し、自転車の施錠を促す。 未施錠自転車数 前年度比10%減 交通違反数 前年度比10%減 	生徒課
イ	基礎学力の定着と家庭学習の習慣化	「生きる力」の基盤となる基礎学力を習得させ、言語活動の充実により、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動の充実やアクティブ・ラーニングの導入を図り、授業改善に努める。 基礎学力検討委員会と研修課が連携して、授業公開週間に、アクティブ・ラーニングが導入された授業の公開を行う。 言語活動の充実を図る教員の割合 65%以上 アクティブ・ラーニングの導入を図る教員の割合 60%以上 	教務課
		計画的に家庭学習課題を設定し、基礎学力向上のための指導を継続的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習に取り組む生徒の割合 75%以上 英・数・国の課題の精選と充実に努 	教務課

様式第1号

			める。 学習課題提出率 90%以上	
		実態調査を行い、生徒に即した指導を行うことにより、朝読書の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書に前向きに取り組んでいる生徒の割合 90%以上 図書館で借りる本 1人年間2冊以上 	図書課 教務課
		生徒による授業評価に基づいて授業改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 授業に満足している生徒の割合 70%以上 授業評価アンケートを12月に実施し、集計結果を1か月以内に各教職員に提示する。 	教務課
ウ	総合的な学習の時間の充実と特別活動の活性化	学校祭等、様々な行事において生徒が積極的に取り組めるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭・体育大会・ホームルーム活動に積極的に参加する生徒の割合 85%以上 	生徒課
		部活動を通して向上心と社会性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率を維持し、実質活動率を向上させる。 指導方法を工夫し、部活動の活性化を図る。 県大会出場運動部数 50%以上 	生徒課
		「茶文化探究」の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「茶文化探究」に満足した生徒の割合 80%以上 	進路課 教務課
エ	キャリア教育の推進	菊川市との「パートナーシップ協定」を生かし、科目「課題研究」、「産業社会と人間」、「進路探究」での地域連携を強化し、各教科レベルでのキャリア教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「産業社会と人間」、「課題研究」の深化を菊川市と連携し小笠型キャリア教育を実現する。 「産業社会と人間」に満足した生徒の割合 80%以上 「進路探究」の内容を肯定的に捉えている生徒の割合 80%以上 2年次のインターンシップに積極的に関わるように指導する。 参加者 50名以上 企業説明会を1年次で実施する。 就職希望者への指導を充実させる。 一次募集での合格率 75%以上 希望進路達成率 80%以上 	進路課 各年次
		パートナーシップ協定を通じて、地元と企業との連携と相互理解を深め、仕事と学習内容理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問企業数 90社以上 招聘企業数 20社以上 招聘上級学校数 20校以上 	進路課
		地域課題を意識させ、主体的な進路を自覚させる進学指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 各年次での進学検討会を1回実施し、進学希望者、特に四年制大学進学希望者への進学指導を継続的に行う。 3年次では、進学検討会、推薦事前会議、推薦認定会議を3回実施する。 希望進路達成率 80%以上 	進路課 各年次
オ	安全で快適な学校生活の確保	防災に関する教育を推進し、防災マニュアルに即した実践的な危機管理能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの見直し改善を図り、本校の実状に即した体制整備を行う。 防災倉庫の整備を行い、備品を充実させる。 地域防災訓練へ積極的に参加する環 	総務課

様式第 1 号

			境作りに努め、生徒・職員への啓蒙活動を行う。 地域防災参加率 90%以上	
		人権尊重の視点に立った研修等の取組を通して教職員の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に関係する校外研修の還元と校内研修の参加率を高める。 ・各関係機関から提供された資料を全職員に提示し、広報に努める。 	教務課 研修課
		教育相談体制を充実させ、生徒の心のケアに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室職員・養護教諭・カウンセラー・担任・年次との連携を図り、様々な問題を抱えている生徒を早期に把握し、全体でサポートする体制を作る。 ・学校生活に満足している生徒 85%以上 	生徒相 談室 保健課 各年次
		清潔な学習環境を保つために、校内美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別・削減に心掛けている生徒 70%以上 ・ごみの処理量は前年度並みを目標とする。 	保健課
カ	保護者・地域との連携及び積極的な地域情報発信	保護者と緊密に情報交換を行い、生活指導や進路指導での連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA指導者研修会への積極的な参加を図る。 ・地区会の参加率 前年度比 10%増 	総務課
		地域の教育機関や団体との積極的な交流に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の園児、児童との交流を推進する。 ・地域行事等への参加を通じて、社会の一員としての意識を向上させる。 	教務課 生徒課
		ボランティア活動への積極的な参加を呼びかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・献血の呼び掛けを積極的に行う。 ・献血延べ実施数は前年度並みを目標とする。 	保健課
		年次通信等、学校情報を保護者だけでなく、中学校や地域に配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや年次通信を利用し、外部、保護者に情報を提供する。 ・中学生に対して、体験入学時、オープンスクール等を利用して学校の理解を図る。 ・学校紹介DVDの内容の更新を検討する。 ・学校広報物を年4回発行する。 	総合学科 広報課 各年次
キ	教育環境の充実と事務運営の効率化・円滑化	良好で効果的な授業環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な教室配置を行う。 ・ICT機器の整備を行う。 ・教科の要望を取り入れ、図書館資料の適切な整備を行う。 	教務課 研修課 図書課
		適正な学校経営予算の編成と執行に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい予算の中で教育活動に支障がないよう一層の節約と見直しを行う。 	事務部
		施設・設備の効果的な管理運用と教育備品の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の補修等は迅速に対応し、県教委への予算要求も積極的に行う。 	事務部